

## 城崎温泉外湯文化

城崎の個性ある外湯めぐりは、単なる入浴にはとどまりません。外湯、つまり、共同浴場の文化は、当温泉地の日常生活に深く根付いており、この魅力的な地域を訪れる大きな理由のひとつとなっています。温泉には、筋肉痛、消化器病、疲労などの症状を和らげる効果があると言われていています。当温泉地の7つの共同浴場の「外湯めぐり」をする際に、伝統的な浴衣（軽装の和服）と下駄（日本の木製サンダル）をお召しになれば、最高の城崎温泉を体験することができます。当地のもうひとつの目玉は、通りを歩く人々の「からん、ころん」と鳴る下駄の音を楽しむことです。

城崎では、温泉の温度が特に高いため（約42℃）、楽しんでいただくためには、ひとつの温泉で長時間の入浴をするよりも、それぞれの温泉で入浴時間を短く抑えることが最善の方法となります（最長で5分）。また、こうすることにより、それぞれの外湯が持つ個性を体験することができます。

当温泉地の地元の旅館にご滞在の場合は、滞在先施設から、町歩き用の浴衣と下駄が貸し出されます。また、各旅館は、滞在客に対し、それぞれの温泉を楽しむことのできる外湯めぐり券も配布しています。外湯めぐりの道中は、数種類の地元産ビールを飲み干し、コロッケや肉まんなどの様々な屋台料理を楽しむことができます。日帰り観光の場合でも、いずれかの温泉に入ったり、7つ全ての温泉を試したりすることのできる1日券を購入することができます。多くの共同浴場は、早朝の午前7時から午後11時まで通して営業しているので、一日中お楽しみいただけます。